

平成三十一年三月投句

ぞくぞくと人山寺の御開帳

木蓮の花麗しくあつけなく

行きずりの人に櫛の芽いただきぬ

節子

蛸壺の並びし浜や春の昼

真理子

春の川沿ひにかけっこ通学路

ひよいと足出して飯蛸壺の口

揺るるはずなく揺らめきて春障子

椿落つ一夜造りの鬼の磴

戒めかはた励ましか春の雷

勝利

早春のひかりを集め摩崖仏

由紀子

揃へ置くヒールに乾き春の泥

風光る山に二つの摩崖仏

潮調子見極め白魚漁師かな

白魚築吾が編みたると漁師かな

光子

埋め戻す遺構の上の草青む